

## 海洋地球研究船「みらい」の減揺装置の故障について

1. 海洋科学技術センター（理事長 平野 拓也）の海洋地球研究船「みらい」は、1月26日13時52分、銚子沖南東の太平洋上の海域（[図-1](#)）にてマジエロ（マーシャル諸島）に向け航海中のところ、減揺装置（[図-2](#)）に付属する電線支持装置（ケーブルベア：[図-3](#)）に異常が発生した。  
ケーブルベアは、95個のリンク（接続環）で構成されているが、リンクの一部が脱落した。  
これにより警報が発生するとともに、減揺装置は自動停止モードに従い中央停止位置で停止した。
2. 故障の原因については現在調査中であるが、「みらい」には予備品を搭載しており破損した部品については、マジエロで交換するため、1月27日に技術者を派遣した。
3. 今回の航海そのものには支障はないため、予定どおり慣熟訓練航海を行う。

---

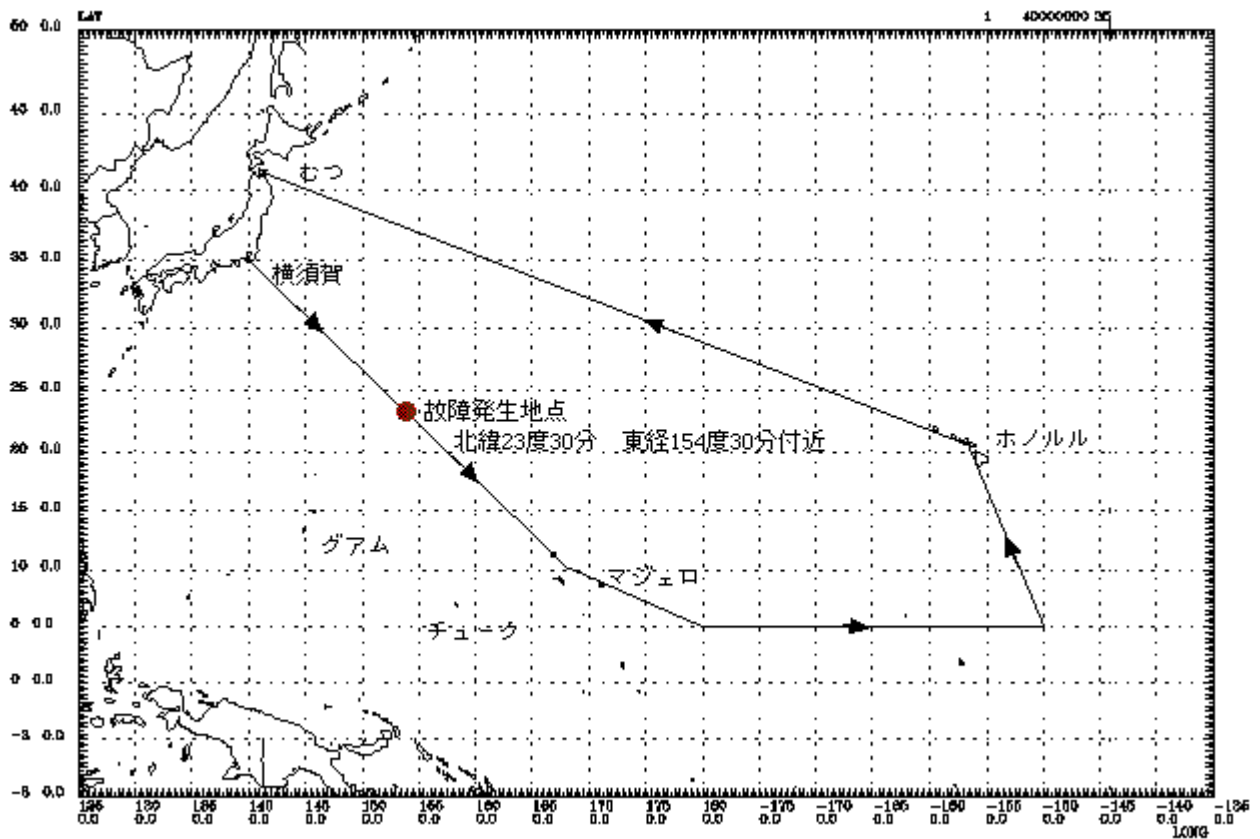
問い合わせ先：海洋科学技術センター

深海開発技術部 主幹 青木 太郎

総務部普及・広報室 喜多河 康二

電話：03-5765-7101（東京連絡所）

---



**JAMSTEC**

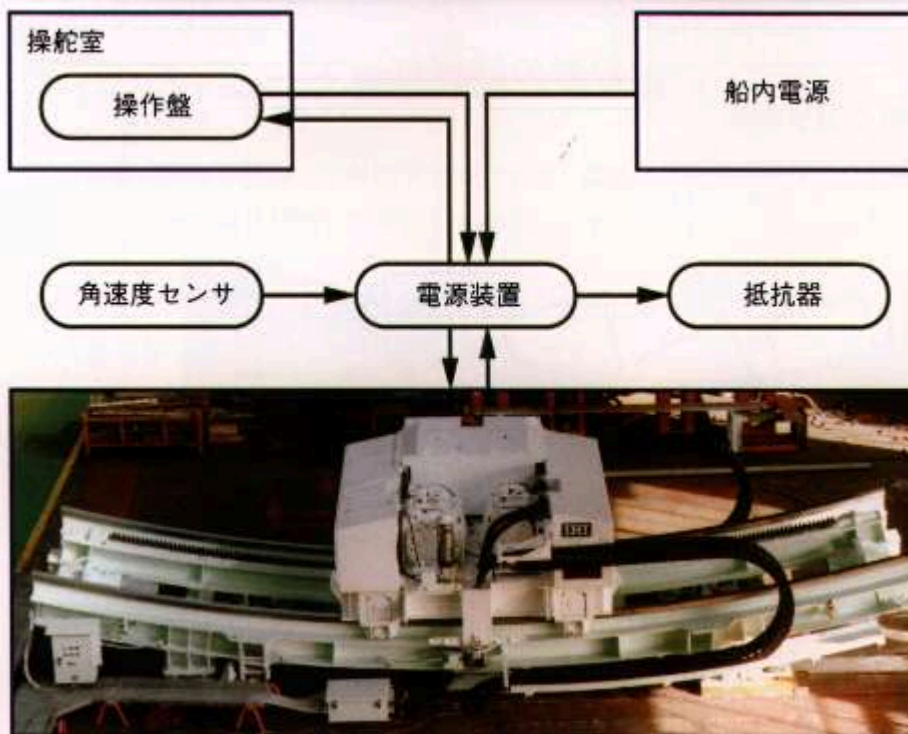
平成10年1月28日  
海洋科学技術センター



100 t マス型ハイブリッド式船用減揺装置

装置寸法 : L×B×H=14.5 m × 4.6 m × 4.3 m  
 電動機 : AC 110 kW × 1800 rpm × 3台  
 固体マス重量 : 100 ton  
 固体マス変位 : 片舷 4.0 m  
 装置固有周期 : 約13秒

## 機器構成

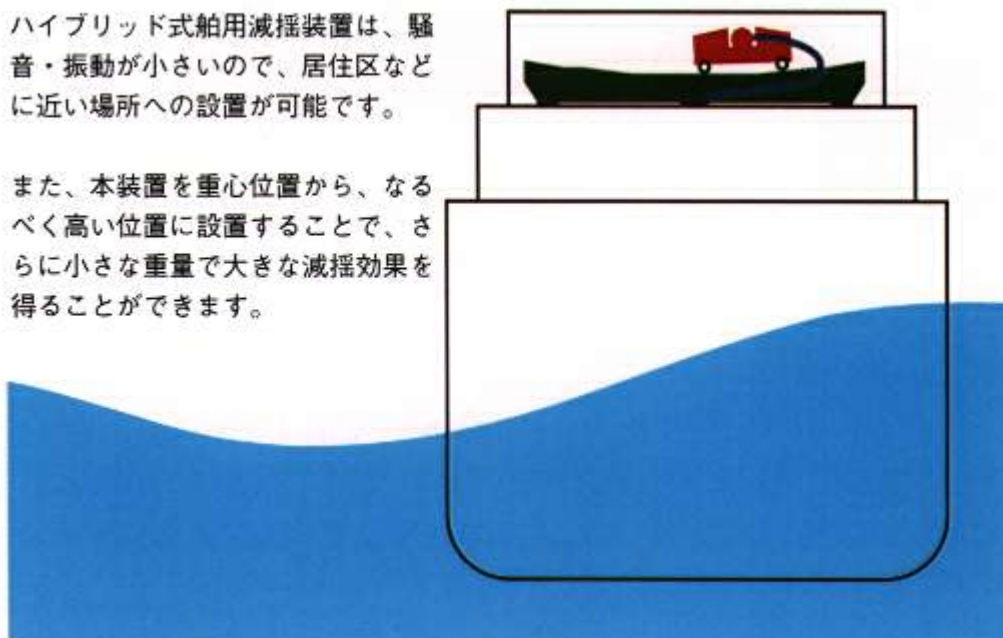


(40 t マス型ハイブリッド式船用減揺装置)

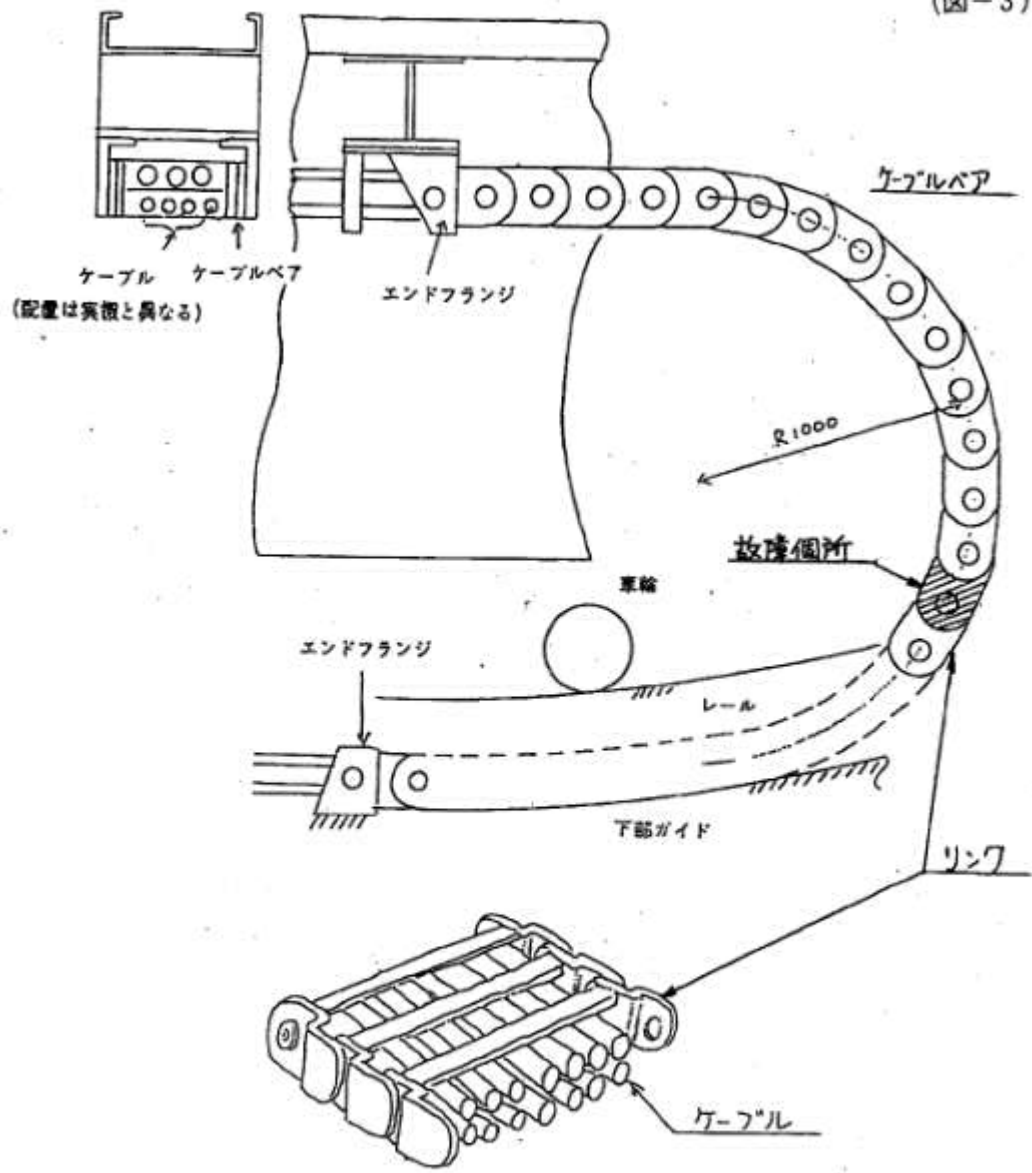
## 減揺装置の設置位置

ハイブリッド式船用減揺装置は、騒音・振動が小さいので、居住区などに近い場所への設置が可能です。

また、本装置を重心位置から、なるべく高い位置に設置することで、さらに小さな重量で大きな減揺効果を得ることができます。



(図-3)



ケーブルベアの配置 (上図) と構造 (下図)